

## カンリクグループ情報発信のプラットフォーム、生まれ変わる太市駅

令和3年3月8日



都市から地方へ、地元と共に歩み成長する企業を目指してカンリクグループは「姫新線太市駅周辺地域の賑わいづくりに向けた連携協定」を4者（姫路市、JR西日本、地元自治会、関西陸運(株)）により締結致しました。

私たちカンリクグループは地元 姫路で創業し 30 周年を迎えます。この節目の時にお世話になっている地元には何かお返しが出来ればと姫新線において姫路市最西端の JR 太市駅の駅舎機能の一部を備える、カンリクグループ本社社屋建設を決意致しました。

### 【地域活力の向上と魅力発信】

近年、太市地区では急激な人口減少や少子高齢化による地域活力の低下が懸念されています。この問題は同地域だけに限られた問題では無く、全国のローカル地域でみられ社会問題となっています。カンリクグループ社屋は「人々が集い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」を目指して鉄道と地域、地元企業が一体となって持続的に発展する、開かれた新しい駅を創ります。

駅に隣接された店舗にはカフェを併設しており、通勤や通学で駅を利用する皆様に朝食からのサポート（テイクアウトの食事）地元住民が集い情報交換をする場所をつくります。ランチタイムには地産地消メニューやプロの料理から家庭的な料理まで美味しいご飯を提供します。高齢者の為の宅配サービスも、予約制ではじめます。

駅に併設する本社ビル及び駐車スペースでは、地元太市の旬をはじめ地元野菜で作った加工食品の販売、RV パークやドッグランなど人や情報が集まり賑わう場所をつくります。

### 【脱炭素社会への取り組み】

温暖化による地球規模の環境問題や災害が多発する昨今、民間企業として「できることから始める」最初の一步として取り組みます。

駅直結の本社ビルとなり通勤や来訪者の移動手段を、車から電車へ転換していきます。

### 【SNS を利用した情報発信】

太市駅を PR する方法として様々なアイデアを今後 JR 西日本様と調整を図りながら検討していきます（例：柴犬の鉄丸君をアピールキャラクターに活用等）

フォトスポットや駅周辺の観光地を紹介したり、各種イベントを定期的に行います。

SNS を積極的に活用し、提供者・利用者双方からの発信を促進します。

姫路市の駅前広場や駐輪場のメンテナンス等、毎日この地で仕事をさせて頂く私たちも地域の一員となって活動させて頂きます。

自然豊かなこの地を私たちだけではなく、沢山の人に来てもらい楽しんで頂けるよう、カンリクグループもその一役を担えれば幸甚です。

情報が集まり、人が集まる。笑顔があふれ、誰もが利用しやすい駅へ。

太市駅は今年で開業90周年を迎えます。そして、次世代へ向けて新しく生まれ変わります。

私たちは物流の拠点から人が集まる拠点へと、これからも人々の幸せを運び続けて参ります。

○カンリクグループ新社屋の概要

【1F】カフェ、レストラン、貸会議室、レンタルスペース、観光案内所、雑貨&農産物等販売所、トイレ、待合スペース

【2F】カンリクグループ本社

【屋上】屋外イベント可能な12m×25mのフリースペース

【駐車場】社屋に隣接し、約35台駐車可能

(イメージパース)



【お問合せ先】  
関西陸運株式会社  
079-268-1313